食育

5歳児　ゆめ組　クッキーづくり

令和４年８月２２日（月）
社会福祉法人晋栄福祉会
新福島ちどり保育園

８月１８日（木）に５歳児ゆめ組がクッキー作りを行いました。三角巾を自分でつけられるようになった子どもたちは張り切って準備をし、クッキー作りを行うことを楽しみにしていました。材料を一つずつ子どもたちと確認し、保育者の真似をしながら生地作りを行うように伝えると、「豆乳って牛乳より色が濃いね」「砂糖ってこんな色なの？」「油って透明なんだ」と、食材について気づいたことを友だちや保育者と共有し、生地作りを楽しんでいました。また、すべての材料を手で混ぜ合わせていると「べちょべちょになってる」と不安そうな様子が伺えましたが、根気強くこねて生地が固まってくると嬉しそうにし「できてきた！」と見せてくれる姿がありました。生地を自分たちで分け、めん棒で伸ばし型抜きを行うと「ぺんぎんの形が出来た」「自分でパンダの形を作れた！」「くっついて難しい」と子どもたちのさまざまな反応が見られましたが、苦戦している子どもには友だち同士で教え合う姿があり、うまく型抜きができると嬉しそうにしていました。「９個もできたよ」「焼けたらどうなるんだろうね」と完成を楽しみにし、厨房さんに「おいしく焼いてください！」と元気にお願いしていました。クッキーが焼き上がるとアイシングパウダーを使い、デコレーションを行いました。思い思いにデコレーションを行い「へびに目を付けたよ」「赤い色のお花にしたよ」と、友だちと見せ合い完成したことを喜んでいました。おやつの時間では「ちょっと固くなってるね」「めっちゃ茶色になってる」等、色や硬さの変化にも気付きながら自分で作ったクッキーを食べることを楽しんでいました。
これからもいろいろな食材に触れ、食に関して興味を持てるように食育活動を進めていきたいと思います。

かたまってきたよ

くるくるくる

なにを描くの？

できたよ

豆乳をいれるよ

クッキー完成！

生地完成！
べちゃべちゃになったね

パンダの形をつくったよ

甘くておいしい